

世田谷のハンディキャブを走らせる会は、1985年の発足当初からやっている募金活動を、今年も、昨日(12月23日)に小田急線北沢駅前で行いました。

長くやっていると、募金にもその時代の様子が写しだされます。当初、募金をしてくれるのは買い物帰りの年配の女性(こころ暖かいおばさんたち?)だったと思います。それが、阪神大震災のころから、子供達や若い人たちがなにげなく募金をしてくれるようになりました。ことしは、アジアをはじめ外国の方々の募金が増えたように見えます。

午後1時から4時までの3時間で、5万5千円の募金がありました。(一万円札を知り合いが入れてくれたこともあります)。当初の募金は100円硬貨と10円硬貨がほとんどでしたが、いまは、500円硬貨や1000円札も多くなっています。

街頭で、通りすがりの人たちに、「ハンディキャブの運行にご協力を・・」と呼びかけて20数年きました。ハンディキャブが何かわかって募金してくれる人たちはそう多くないと思いながら、呼びかけ方に工夫もし始めました。「高齢者や障害を持った方々の外出支援活動にご協力を・・・」

募金をやっていると、募金をしてくれる方々のお顔をまじまじと見ます。良い顔をしている人が多いことになにか元気付けられます。「頑張ってるね」との笑顔のメッセージを受け止めることができます。

(鬼塚)